

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成30年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	18	金	10:00	15:30	運動公園	4
活動名称	コヒガンザクラ挿し木					報告者：佐野	

<主な活動内容>

- ◎ 昨年に続いて、コヒガンザクラの挿し木を行った。
- ◎ 8:30 逆木倉庫で昨年の残りの資材を確認し、必要な資材をカインズで購入した。
- ◎ 運動公園に移動し作業を開始した。
- ◎ 人数が少なく予定の時間を越えたが、200本の挿し木が出来た。

○ 作業の概要

- 新芽の採取：街路樹のコヒガンザクラから枝を採取した。
- 挿し穂の調整：昨年伸びた枝に今年伸びた新芽を挿し穂とする。
挿し穂の葉数は上部3枚とする。
発根剤（ルートン）を塗り、鹿沼土の微粉のペーストで保護する。
- 挿し木：素焼きの8号鉢に10本挿し木する。
用土は、下から鹿沼土大粒、中粒、細粒と3層とする。
- 養生：挿し穂の根本をしっかりと押さえ、鹿沼土細粒を薄く追加する。
針金を十字に渡し、湿度を保つため透明ポリシートで鉢を包む。

○挿し木の総数：合計200本の挿し木が出来た。

10鉢×10本=100本、橋本さんのトロ箱に100本

- <購入資材>
- ・鹿沼土 大粒、中粒、細粒
 - ・8号素焼き鉢
 - ・鉢底ネット
 - ・寒冷紗（22%遮光）
 - ・トップジンMペースト（融合剤）
 - ・ルートン（発根剤）
 - ・カラー針金

<里山参加会員>

橋本、小沼、松井、佐野英

【今後の管理】

- ・置き場所：夕日の当たる場所は避ける。寒冷紗で直射日光を防ぐ。
出来れば寒冷紗は夜はずす。
- ・水やり：8月末までは毎日水やりをする、乾かさない。
- ・9月初め：化成肥料を与える。8-8-8の小粒を1株あたり3粒。
- ・9月末：同量を追肥する。
- ・10月中旬：同量を追肥する。
- ・11月以降：水やりは控えめにする。但し、乾かさないように注意。

#3月中旬、畑に地植えするまで水分控えめで管理する。

今回の鉢の管理者：橋本、小澤邦、小沼、牛島、脇屋、松井、佐野



・新芽のある枝の剪定



・挿し穂の準備



・用土の調整、部品を除く



・挿し穂の調整



・素焼き鉢に挿し木